

# 来週の「売り物記事」はこれ



2017年1月20日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## スパイとされた姉 73年目の真実

22日(日)



戦時下の1944年、新潟県のカトリック教会に集う信者7人と神父が特別高等警察に拘束される事件がありました。戦後の45年、うち4人に有罪判決が下されましたが、罪名や判決理由は明かされませんでした。このため「あの家は思想犯を出した」「あいつはスパイだ」などとデマが飛び交い、故郷を去った信者もいます。昨夏、新潟地



検に判決文が保存されていることを知った記者が、交渉を重ねたところ、すでに亡い元被告の妹(78)に対してのみ閲覧が許可されました。記されていたのは「懲役1年6月、刑の執行を3年猶予」。罪名は治安維持法違反で、判決理由は「天照大神はアダム、エバの子孫だとして皇室を冒瀆した」。1年5カ月間も姉を拘束し、家族をも苦しめた罪の正体を知って、妹は怒るよりあきれました。「これって犯罪なの?」。世の中が一つの目標に向かう時代の中で、反対する人間はつぶされていったと、存命が確認できた元被告の女性(93)は言います。信者と家族の足跡を追いながら、民主主義の維持に欠かせない情報開示の大切さを考えました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 元ひきこもりのアイドル、「ひきこもり新聞」…

### 居場所を見つけた「ヒッキー」たち

夕刊特集ワイド 23日(月)



学校や仕事に行けない「ひきこもり」。その当事者たちが、立ち上がって情報発信を始めています。ひきこもりの経験をバネに活躍するアイドルもいれば、「ひきこもり新聞」を創刊して自分たちの声を直接、社会に届けようとしている人たちもいます。一方、ひきこもりをテーマにしたエンターテインメント小説も登場。殻に閉じこもらず、自らの居場所を見つけようと歩き出した若者たちの姿を描きます。

## 妊婦の栄養

くらしナビA面 25日(水)

妊娠中や授乳中は、食べる物や服薬に特に気を使います。栄養バランスの整った食事や感染症にかからない生活に気配りし、積極的に取るべき栄養素や薬との付き合い方も知っておきたいものです。母親になる女性が妊娠前から積極的に取るべき栄養素として葉酸があります。胎児・乳児のために心がけたい食生活のポイントや薬の飲み方を考えます。



## 恵方巻き

くらしナビA面 24日(火)



節分に今年の「恵方」を向いて一本まるごと無言で食べると幸運が訪れる、とされる「恵方巻き」。福を「巻く」とか、縁が「切れない」とか、さまざまな売り文句で販売されますが、起源ははっきりしません。今年の2月3日、恵方は北北西です。あやしげな発祥はともかくとして、のり巻きずしの夕食作りを家族全員で楽しむイベントにしてみてもいいでしょう。

## 女の気持ちをたずねて



おんなのしんぶん 23日(月)

京都市の玉木隆子さん(83)は花嫁修業として洋裁学校で学び、足踏みミシンが花嫁道具の一つでした。結婚して子育て一色の日々、母子おそろいの服や、世界に一枚しかない洋服を楽しく仕立てました。人生を知り尽くしたミシンは古びたものの、踏む音は軽やかで遠き日のまま現役です。「女の気持ち」の投稿のもとになった玉木さん宅を記者が訪ねました。



## 相模原殺傷事件半年 続く模索

医療・福祉面 25日(水)



19人が犠牲になった相模原市の障害者施設殺傷事件から26日で半年。元職員が入所者を襲うという事件は、障害者が健常者とともに暮らす社会を模索してきた関係者らに、今も暗い影を落としています。住民の反対が強まり建設が難航した施設や、外部の侵入を防ぐためゲートを設けた施設もあります。防犯強化と地域開放をどう両立するか、障害者や施設への偏見をどう取り去っていくか、悩みながら前へ進もうとする当事者と支え手たちの姿を追います。

若者への福音、それともぬか喜び……

## 給付型奨学金 これですんぶんか

オピニオン面 [論点] 27日(金)

奨学金に頼る学生が増えています。今や大学に通う2人に1人が利用していると言われています。しかし雇用環境の激変で、奨学金の返済ができず自己破産に追い込まれるようなケースも続出しています。そうした状況を受けて国は2018年度から、低所得世帯の大学生を対象に、返済不要の「給付型奨学金」をスタートさせます。今後の課題などを専門家に聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。